



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和5年度 6月号

感謝の気持ち

校長 浅野 謙一

今年も中学校総合体育大会が、6月24日（土）からの瀬戸・尾張旭地区大会を皮切りに各種目で始まります。一昨年度は、緊急事態宣言が出されるなど開催が危ぶまれましたが、参加人数を制限したり、保護者の方の観戦を自粛したりするなどしてなんとか開催することができました。昨年度は、人数制限はありましたが、保護者の方の観戦も認められるようになりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症が、5類感染症に移行され、新型コロナウイルス感染拡大以前の通常の形に戻っての開催となります。この大会は、部活動で頑張ってきた人たちにとっては、今までの練習の成果を発揮する大切な大会です。特に3年生にとっては、この大会が終わると部活動を引退して、次は自分の将来に向けての活動に邁進することになります。

さて、この大切な大会に臨む前に次のことを心にとどめておいてください。スポーツの世界では、常に勝敗が争われ、その結果、勝者と敗者が生まれます。勝者となった人は賞賛され讃えられます。そのことは当然のことであり、勝者となった人は、大いに誇りをもってよいです。なぜなら、勝者となるためには、幾多の挫折を乗り越え、血のにじむような努力をしてきたからです。しかし、その一方で、敗者となった対戦相手がいることを忘れないでください。敗者となった人たちも同じように練習を積み重ね、努力をしてきたはずです。ただほんの紙一重の差で勝者にはなれなかったのです。敗者への敬意を忘れずにいられる人こそが真の勝者といえます。また、チームの内には、補欠として試合に出られなかった人や、チームの勝利のために助け、支え、協力し、励ましてくれた人がいたことも忘れないでください。試合なので当然、勝ち負けがあります。うれしい気持ちや悔しい気持ちなどいろいろな気持ちがあると思います。しかし、いつも自分のチームメイトを信頼して、感謝の気持ちをもたなければ、チームワークは生まれません。また、対戦する相手にも感謝の気持ちをもたなければ、フェアプレーの精神は生まれません。そして、いつも部活動を指導してくださっている顧問の先生方や大会のために一生懸命審判をしてくださっている先生方に対しても、そして、応援してくださっている保護者の方にも感謝の気持ちをもってください。

スポーツでもその他いろいろな大会や競技においても、勝利を目指すことも大切ですが、それ以上に、フェアプレーに徹し、マナーやルールを大切にして、いつまでも自分自身の、そして他の人たちの記憶に残り、感動を与えられるようなすばらしい行動ができる中学生になってほしいと思います。

宿泊行事がありました！

★ 修学旅行（3年生 5月30日～6月1日 in東京）



3年生が修学旅行、2年生が野外活動にでかけました。

どちらも盛りだくさんの内容で、多くのことを学び、様々な経験をすることができました。それぞれが大きく成長できたことと思います。今後の学校生活に生かして欲しいものです。

★ 野外活動（2年生 6月12日～13日 in美浜）

